

**令和5年度 東京都立多摩科学技術高等学校 学校経営計画**

東京都立多摩科学技術高等学校

校長 森田 常次

**1 目指す学校**

本校は、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール指定校(第Ⅲ期基礎枠: 令和4年度～令和8年度、重点枠: 令和5年度～令和8年度)(以下、SSH 指定校)に採択、東京都教育委員会から進学指導推進校(令和5年度～令和9年度)・英語教育研究推進校・高大接続事業などの指定を受けている。

このような様々な支援と豊富な実験設備の下で、次のような学校を目指して教育活動を展開し、「世界で活躍する科学者・技術者」を輩出する。

- (1) 科学技術創造立国日本の中核を担い、国際社会の中で活躍する「将来の科学技術者や研究者」に必要な基礎力を育成する学校
- (2) 科学技術に関する興味関心と意欲を醸成するとともに、大学等への進学による専門的な学習に備え、科学技術に関する広い基礎知識や、創造力、論理性などの基本能力を身に付けることができる学校
- (3) 大学受験に必要な基礎学力の指導を確実に行うことにより、生徒一人一人の興味・関心に応じた理系四年制大学などへの進学が実現できる学校

スクール・ミッション
先進的・実践的な理数教育を実施する学校として、多摩地域に多数存在する先端技術分野において優れた企業、研究機関、大学などの教育資源を最大限に活用することで、大学進学に向けた普通教科指導に加え、科学技術の指導を行うことで、未来の科学技術者の基礎を作り、世界で活躍する科学者・技術者を育成する。
教育目標
<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 科学技術への好奇心と探究心を育て、創造力を伸ばす。</li> <li>(2) 進路実現に必要な学力を確実に育てる。</li> <li>(3) 柔軟な発想力と論理的な課題解決力を育てる。</li> <li>(4) 社会人としての責任感と豊かな人間性を育てる。</li> <li>(5) 自らの可能性に気づかせ、未来をひらく志を育てる。</li> </ol>
スクールポリシー
<p>(1) グラデュエーション・ポリシー</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 生きて働く「知識・技能」の習得として、進路実現に必要な学力を育成する。</li> <li>② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成として、科学技術への好奇心と探究心および創造力、柔軟な発想力、論理的な課題解決力を育成する。</li> <li>③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養として、社会人としての責任感、豊かな人間性、未来をひらく志を育成する。</li> </ol> <p>(2) カリキュラム・ポリシー</p> <p>スクール・ミッション達成に向けて、次のような教育課程を編成・実施し、学習評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 専門教科では、実験・実習等の体験的学習を重視し、専門性を高め実践的応用力を伸ばす。</li> <li>② 共通教科では、基礎的・基本的内容の定着を図り、大学進学に向けた学力の充実を図る。</li> <li>③ 教科等横断的な学習を重視し、専門教科、共通教科間のつながりある指導を展開する。</li> <li>④ 観点別学習状況の評価を行い、生徒自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かう態度を育成する。</li> </ol> <p>(3) アドミッション・ポリシー</p> <p>将来の科学技術分野で活躍できる若者の育成を目指すために、幅広い科学技術の基礎知識と素養を身に付けることを重視している。したがって、本校の学習、学校行事、部活動等に積極的に取り組み、大学進学等の希望する進路の実現や、将来の目標について自ら考え行動できる、次のような生徒の入学を期待する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 本校の教育目標と教育内容をよく理解し、入学を強く希望する生徒</li> <li>② 理科系大学進学等、希望する進路の実現に向けて、日々の学習活動に意欲的に取り組む生徒</li> <li>③ 科学技術に関して興味・関心を持ち、意欲的に取り組む生徒</li> <li>④ 学校行事、生徒会活動、部活動等において積極的に取り組む生徒</li> <li>⑤ 社会の一員としてのルールやマナーを身に付け、自他共に思いやる心をもつとともに、積極的にコミュニケーションを図る生徒</li> </ol> <p>また、将来、国際社会で活躍する意欲を持つ生徒であること、中学校の学習活動又は部活動で優れた取り組みをし、入学後も継続的に活動できる生徒であることも期待する。</p>

## 2 中期(令和7年度目途に達成する)目標とその達成に向けた具体的方策

「先端科学技術のみならず広く自然科学への知的好奇心・探究心・学ぶ意欲に富む生徒」「将来の科学技術分野を担うスペシャリストを目指す、志あふれる生徒」「地球環境問題、技術者の倫理観など現代社会における科学技術と人間とのかかわりを学ぶ中で、幅広い教養と豊かな人間性を有する生徒」の育成するために、中期目標を次のとおり設定する。

- (1) 希望する理系大学進学を実現させる教育内容と指導の充実
  - ① 国公立大学、難関私立大学への進学を志す生徒を育成する進路指導を展開する。
  - ② 国公立大学、難関私立大学への受験に対応できる「生きて働く知識・技能」の習得を目指す学習指導を展開する。
  - ③ 推薦入試(総合型選抜、学校推薦型選抜等)に対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を目指す教育活動を推進する。
  - ④ 自らの学習状況や到達度を振り返り、学習等に向けた姿勢や態度の育成を目指す学習指導・進路指導を展開する。
- (2) 科学技術への関心と基礎力を育成するための教育内容の充実
  - ① 「科学技術への好奇心や探究心及び創造力」「論理的な課題解決力」の育成を目指し、大学や企業と連携した課題研究や卒業研究を展開する。
  - ② 「柔軟な発想力」の育成を目指し、専門教科と共通教科を連動させた学習効果の高い指導方法(分野等融合探究)の開発、国内外の高校や研究機関と連携した研究活動の構築などの取組を推進する。
  - ③ 社会貢献する意識の醸成と生徒体験の充実を図ることを目指し、地域や小中学校と科学分野の活動を軸とした連携を展開する。
- (3) 心豊かで責任感と主体性に富む生徒を育成するための指導内容の充実
  - ① 相互に尊重し合う心(人権意識)の醸成、自己肯定感・帰属意識・社会貢献意識等の向上を目指し、特別活動(ホームルーム活動、学校行事、生徒会活動)や部活動を組織的・計画的に展開する。
  - ② 成人としての権利や義務等を正しく理解し、社会人として適切な行動がとれる生徒の育成を目指し、主権者教育、消費者教育等を展開するとともに、TPO(言葉遣い、あいさつ、身だしなみ)を考えた行動ができる生徒を育成する生活指導を展開する。
- (4) 開かれた学校づくりの推進(適切な学校情報の発信等)
  - ① 保護者、中学生やその保護者、地域に本校の教育活動について適切に情報発信することを目指し、授業公開、学校行事の公開、体験入学等の実施、ホームページ、学校案内、発行物等の質の向上を図る。
  - ② 地域に根差した学校運営を展開するため、小金井「科学の祭典」への協力など、地域のイベントへ参画する組織体制を構築する。
  - ③ 学校運営連絡協議会、学校評価委員会等により、地域、保護者等の意見を踏まえた学校運営を行う。

## 3 令和5年度における取組目標とその達成に向けた具体的方策

前記「2 中期(令和7年度目途に達成する)目標」、SSH 指定校(基礎枠、重点枠)、進学指導推進校、英語教育研究推進校等のミッションの達成のために、今年度は以下の点について重点を置き、取り組んでいく。

### (1) 学習指導の充実

取組目標	その達成に向けた具体的方策
① 学力向上に向けた組織的な学習指導 ※模試にける偏差値 55～58 がボリュームゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模試分析に基づいた目標設定と指導内容・方法の工夫</li> <li>・自宅(授業外)学習の実態把握および動機づけ</li> <li>・観点別学習状況の評価に基づく授業改善</li> </ul>
② 授業力向上のための取組 ※深い学び、協働的な学びの展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員相互の授業研究や指導教諭の授業参観等を活用した教科会の充実</li> <li>・大学入試問題の分析(5校以上)による教材開発</li> <li>・生徒による授業評価を活用した授業改善の実施</li> <li>・共通教科「情報Ⅰ」の代替や共通テスト「情報Ⅰ」に向けた指導に関する在り方の確立</li> </ul>
③ 研究(探究)活動を進める上で 必要な資質・能力を高める指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題設定能力を育成するため、大学企業と連携した講演会の実施や科学技術アドバイザー制度の活用等の工夫</li> <li>・「分野等融合探究」「先端技術と社会」「概論」等の学校設定科目のカリキュラム開発及び実践とその評価</li> <li>・プレゼンテーション能力、論文作成能力の向上を図る指導方法の研究開発</li> <li>・国際交流(海外の高校等との交流)の充実</li> </ul>

④英語4技能の向上に向けた取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JET、オンライン英会話等を活用したスピーキング及びリスニング能力の向上を図る指導方法の確立</li> <li>・パフォーマンス評価等の充実・改善</li> <li>・ライティング能力の向上を図るための指導方法の工夫</li> </ul>
--------------------	---

## (2)進路指導の充実

取組目標	その達成に向けた具体的方策
①進学指導の校内体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学から受験までの総合的な進路指導の充実</li> <li>・教科代表者会議を活用した進学指導の充実</li> <li>・模試分析会、個別進路検討会等の充実</li> <li>・大学入試動向に関する研修会・講演会の実施</li> </ul>
②生徒の進路実現に向けた意識(1・2年生)の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学の研究室訪問の実施、オープンキャンパス等への参加の促進等とおした、進路決定に向けた意識付けの工夫</li> <li>・進路講演会や成功事例紹介等の活用</li> <li>・探究活動を活かすための大学研究室調査(5つ以上)</li> <li>・担任・進路指導部・教科の情報共有による個別指導の充実</li> </ul>

## (3)生活指導・保健活動の充実

取組目標	その達成に向けた具体的方策
①基本的な生活習慣(TPO に応じた身だしなみや振る舞いなど)と規範意識の醸成に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員による率先垂範の徹底</li> <li>・時間厳守、身だしなみ、言葉遣い等の指導の徹底</li> <li>・全職員一貫した(指導教科会及び生活指導部を中心とした)指導体制の構築</li> </ul>
②交通安全指導及び防災教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車の運転に関わる安全指導の実施</li> <li>・防災に関する講話、防災体験等の実施</li> </ul>
③安心・安全に教育活動に取り組める校風の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導や校内美化環境の情報共有と円滑な運営</li> <li>・学校いじめ対策委員会を中心とした指導体制の確立や自殺総合対策大綱に基づく指導の実施</li> <li>・スクールカウンセラーとの連携による指導の充実</li> <li>・教育相談研修及び特別支援教育研修等の実施による職員の意識啓発</li> </ul>
④生徒の体力向上の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都統一体力テストの実施と施策を活用した体力向上のための取組の工夫</li> </ul>

## (4)特別活動、部活動、地域交流等の充実

取組目標	その達成に向けた具体的方策
①自己肯定感の向上及び帰属意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的で計画的なホームルーム活動の充実</li> <li>・生徒の自主的な学校行事や部活動の実施</li> <li>・ボランティア活動や地域活動の推進</li> </ul>
②外部発表機会の活用と発表内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な取組、高い目標への挑戦と指導の実施</li> <li>・科学リテラシー振興拠点(科学の祭典や小中学校との連携)として地域連携の充実</li> </ul>
③成人としての権利や義務等を正しく理解し、社会人として適切な行動がとれる生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科等と連携して、組織的・計画的に主権者教育、消費者教育等の講演会等を実施</li> </ul>

## (5)募集・広報活動等の充実

取組目標	その達成に向けた具体的方策
①教育活動の魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験入学、体験入部、学校説明会(見学会)、授業公開等、中学生とその保護者への魅力発信の工夫</li> <li>・学校行事(体育祭、文化祭等)の保護者や地域等への公開</li> </ul>
②中学校教員等へ情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、教員による中学訪問の実施</li> <li>・研究発表会やSSHのイベント等へ案内の実施</li> <li>・中学校教員対象説明会、塾対象説明会などへの参加</li> </ul>

③ホームページの充実(更新頻度の確保)	・生徒の活躍、トピックス等の魅力発信 ・ホームページ更新の促進
---------------------	------------------------------------

(6) 学校経営・組織体制等

取組目標	その達成に向けた具体的方策
① 服務事故防止に関する取組の充実	・保有個人情報管理基準の運用徹底 ・体罰の根絶に向けた取組の推進 ・定期的な研修会及びチェックシートによる教員自身の振り返りを実施
② 働き方改革推進に向けた業務の効率化	・業務の継承とOJTを目的とした分掌内分担の実施 ・小金井工科高校との日常連携の促進(各分掌)
③ 地域から信頼され、必要とされる学校づくり	・地域への広報活動の充実 ・学校運営連絡協議会等の運営方法の工夫
④ 経営企画室の経営参画	・担当者業務情報連絡会や研修会を通して、進行管理を適切に行うとともに、円滑な教育活動に努める

4 令和5年度における具体的な数値目標とその検証方法

(1) 希望する理系大学進学を実現させる教育内容と指導の充実

項目	目標値	備考
① 国公立大学に合格した生徒数	60名以上	R4:55名 R3:52名
② 四年制大学へ進学した生徒の(卒業生徒数に対する)割合	75%以上	R4:74.6% R3:63.7%
③ 共通テスト(5-7型)を受験生徒の(卒業生徒数に対する)割合	60%以上	R4:75% R3:78.0%
④ 共通テスト(5-7型)で720点(得点率80%)以上の生徒数	10名以上	R4:6名 R3:0名
⑤ 授業外における(1年生及び2年生の生徒一人当たりの)自主的な学習時間	2h/d	R4:2.1h/d R3:2.1h/d
⑥ 全国模試における偏差値57以上の生徒数	50名以上	R4:53名 R3:21名
⑦ 教科主任会・模試分析会・個別進路検討会等の実施回数	3回	R4:6回
⑧ 大学入試問題の分析の教員(5教科)一人当たりの大学・学部数	5校	
⑨ 相互授業観察の教員一人当たりの回数	2回	

(2) 科学技術への関心と基礎力育成するため本校ならではの教育内容の充実

項目	目標値	備考
⑩ 外部機関等が開催する研究発表会での発表件数	300件以上	R4:230件 R3:209件

(3) 心豊かで責任感と主体性に富む生徒を育成するための指導内容の充実

項目	目標値	備考
⑪ 遅刻した回数(生徒一人当たり)	3回以下	R4:4.0回 R3:2.8回
⑫ 学校行事への生徒の満足度(そう思う+やや思う)	85%以上	

(4) 開かれた学校づくりの推進(適切な学校情報の発信等)

項目	目標値	備考
⑬ 学校説明会等に参加した中学生の満足度(そう思う+やや思う)	80%以上	
⑭ 入学者選抜の受検倍率(推薦、一般)	2.0倍以上	R4:推薦1.97倍、一般1.46倍

(5) 適正な学校運営

項目	目標値	備考
⑮ 服務に関する研修会の実施	3回以上	R4:3回
⑯ 人権教育・教育相談・特別支援教育等に関する研修会の実施	2回以上	R4:0回